

広報

よもぎた

内容

- 特集『消費税してますか?』.....2~3
- 牧場祭りから.....4~5
- てんかんとのたたかい.....6~8
- 教育委員会から.....9
- 総務課から.....10
- 保育所運動会/ひとこと・村長から.....11
- 民生課から.....12
- 談話室/行事予定.....13
- けっぱる蓬田人/戸籍の窓口.....14

No.181



若人よ、海を渡っていく風となれ!

ほのかなる
空の匂ひや秋の晴
虚子

お盆が過ぎるのを待ちかねたように、気温がどんどん下がって来る。

これが津軽の秋。ところが、今年は厳しい残暑が続いた。どうしたことだろう。

しかし、この天気は稲作りには向いているようで、農家はニンマリの様子。ずーっと、不作、凶作だったから、この辺で吉と転じても良いだろう。

去る九月十日、期待を背負った青年達を乗せ、県青年の船が青森港を船出した。村の青年三人も、元気に乗り込んだ。(写真)

明日の蓬田村を支えていく人材だ。わずか二週間の研修だが、みっちりもまれて大きくなって帰ってほしい。色づいた稲も待っている。

10

月

1989

消費税

して

ますか？

わずか3%・されど3%

3%のふりかけは

さてさて、にがい

しょっぱいか？

『消費税』は、消費に広く薄く課する税金として、今年の四月一日からわれわれ庶民の前にお目見得しました。それから、半年あまり。

世は、この「消費税」に様々な反応を示し、ついに制度を見直す方向にあるようですが、皆さんは「消費税」ごとのようにお付き合いしていますか？

家計に影響はございますか？

商売に差し障りはございますか？

今月は、この「消費税」について少しばかり探ってみました。



小銭入れは必需品？

ガマグチを逆さにするとトンジャラ、トンジャラ。

あるわ、あるわ。

一円玉、五円玉、十円玉、五十円玉、玉、玉、玉。

重い物は、ズシリと重い小銭入れを、いつもポケットに用意しておかなければならなくなつた。

例え、小銭を用意しないでお札ばかりで買い物に出かけても、帰りは玉がどっさりついてくる。

もしかしたら、「消費税」実施に合わせてブタの貯金箱



をかなづちで割つた人がいるかも知れない。

とにかく、「消費税」が我々庶民にまず印象を与えたのは、この小銭のことだったのかも知れない。

スタイリストだったら、「レジの前で、小銭ジャラジャラ。カッコ悪いなあ」とぼやいているかも。

村では取っていない店も

「消費税」を全く知らなくても、ちゃんと取られる仕組みになつていて、そのぶんも払わな

いと物を買えないんだから。隣の青森市や蟹田町で買

物をして、しっかりと取られている。

しかし、村の中ではあまり見かけないようだ。

何だか、小さい店は消費税を取らなくても良いとか何とか耳にはさんだことがある。

どうも、この辺のところでは違つてきているようだ。

そこで、村商工会に電話。

「村内の商店は、消費税を取っているんですか？」

電話に出られた職員は、消費税について何も知らない者から質問されて困つたことだろうが、ていねいに教えて下さつた。

「簡単に言うと、売上げが三千万円以下の店でも、消費税は取らなければいけないんですよ。ただし、それは国に納めなくてもいいという特例があります。」

ええ？？知らなかつた。と言うよりは、間違つて覚えていた。

小さい店も取るべき？

「でも、現実には取っていない店があるでしょう？」

「もらっていない店のほうが多いかも知れませんが、粗利益は少なくなるんですがね」と言うことで、事実の周辺は分かつた。

もう一步踏み込んで、小売店N商店の若社長に聞く。

「消費税、かけてる？」

「かけてるのも、かけていないのもあるよ」

「どういうこと？」

「内税のものがあるし、市場で仕入れてどうなっているか分からないものもあるし」

「で、どうなの？」

「村の店が皆そろつて消費税かけないと、やりにくいね。かけないで安く売つてる方へ客は行くからね」

と、入り組んだ事情があるようだ。

皆さん、どう思いますか？

直接わが身に

しみるものもある

さて、すでにご存知のことと思うが、消費税が導入されてから安くなつたものと、高くなつたものがある。

日用雑貨はほとんど高くなつてきているようだ。

酒類は、ちよつと複雑。

二級ウイスキーと焼酎が目立って高くなつた。

大きな取っ手つきのビンに

入っている二級ウイスキーでは、約六十パーセント高くなつたものもある。

逆に、高級ウイスキーは安くなつていて、

晩酌の種類に変更はありませんでしたか？

高級品は安く

一般必需品は高く

総じて、高級品は安くなり、一般必需品が高くなつてきているようだ。

役所のことには少しふれると、一般の人が最も関係ある公共料金は、消費税の関係だとは言わないがご多分に漏れず上がつてきている。

貴金属、毛皮、乗用車、電化製品、オーディオなどは安くなつたと聞かすが、われわれ庶民が買うことはまれで、まず関係ないと言えよう。

わずか3%、されど3%。皆さん、腹の中はどうなつていますか？



うま〜い!この肉

三千人のお客様が舌鼓

「89よもぎた牧場祭り」開催される

おいしい蓬田牛を実際に食べてもらい、村内外に蓬田牛の存在をPRし消費拡大と畜産振興を図ろうと村が開催している牧場祭りが、今年第四回目を迎えました。

八月二十七日(日)、村営牧場は午前十時から、村内はもとより近隣市町村から集まった三千人のお客様でにぎわいました。



牧場祭りは村最大の

イベント

今年は、村制施行百周年にあたり、祭りも昨年までより大きめとなりました。

開会式は、八戸良次郎村長の「農業、漁業を基盤としたわが村も今年で百周年を迎えます。今日の牧場祭りが、村最大のイベントです。蓬田牛(黒毛和種)は、年々市場の評価も高く、名声が高まってまいりました。この祭りを起爆材として益々発展して行きたい。皆様のご協力をお願いします。今日一日楽しくお過ごし下さい」という挨拶で始まりました。

津島鉄男村議会議長からは、「わが村の後ろには、大倉岳、赤倉岳、前には陸奥湾、下北半島等があります。この大変恵まれた牧場で育った蓬田牛

は、県内外で評価が高いと聞きます。今日の牧場祭りがすばらしい祭りになりますよう心からお祝いたします」と祝辞が述べられ、来賓によるテープカットと続きました。



バス三台でお客様を送迎

会場へは、青森駅西口からのバスと村内無料バスの計三台が用意されました。

このためか、お出でになったお客様は例年より大幅に増え、会場となった広い牧草地もさすがに一杯になりました。百五十台収容の駐車場もマイカーであふれ、臨時駐車場を設ける場面もありました。会場に入ったお客様が、まっ先にする事、それは見晴らしのいい場所を確保することです。

たぎもよ報広

次が、牛肉と無料貸し出しの鉄板やコンロを受け取りに行くことです。

輪になって、コンロを囲んで、肉や野菜を焼いて、タレを付けて食べる。

これが正調焼肉の食べ方。

歴代の校長先生方

をご招待

今回の新しい試みの一つに、歴代小学校長、中学校長のご招待がありました。

蓬田牛を賞味して「久しぶりに故郷を訪ねた気分、風光名美な自然のなかでうまい蓬田牛は最高です」と話し、家族に土産を買い求めていました。

会場には、家族連れのほか、身障者の会など、職場ぐるみの団体も年々多くなっています。



好評ノ売れ行き上々ノ

前売り券も含め千百枚の牛肉券は草々に売り切れ。

即売コーナーでもステキ用の肩ロースやヒレ肉などが特価で販売されましたが、昼前に売り切れとなりました。

蓬田牛の人氣は、年々うなぎのぼりです。

肉のほかに、生活改善グループの蓬寿ずし、婦人グループの夏秋トマト（桃太郎）を使った焼肉のタレが販売され買い求める人で混雑しました。



アトラクション

はまかせてノ

会場西側に、特設舞台を設けて行われたアトラクションには、子供達を初め、家族連れが詰めかけました。

今年から運営は、青年会が担当し祭りはスムーズに進みました。



アトラクション

は楽しいノ

小学生を対象にした「宝さがし」や「牛乳の早飲み」輪投げ、全員を対象にした「牛

の親子の体重当てクイズ」「草上リンボーダンス」「ビール早飲み」「干草投げ」婦人会による「蓬田音頭・小唄」の手踊り、「カラオケ大会」「蓬田かほり歌謡ショー」などが多彩に繰り広げられ参加者は時間のたつのを忘れて楽しみました。

また、お楽しみ抽選会は、番号が読み上げられるたびに一喜一憂（いっきいちゆう）。



当たり券を片手に掲げて走って来る人は「やったっあー」と叫び、当たらなかった人は深い溜め息をもらしていました。

ちなみに、今回の賞品には、村長賞として、食器乾燥器が用意されました。

子供達でいっぱいノ

《ふれあい動物コーナー》

会場入り口付近には、盛秋雄（瀬辺地）さんの協力により《ふれあい動物コーナー》が設けられました。

こわごとどさんこ（馬）に乗る子、かわいいウサギを抱いて動かない子、珍しい烏骨鶏（うこっけい）の前を離れない子どもと、子供達でにぎわいを見せました。

「来年も、素晴らしい「牧場祭り」に」

参加したお客さんから「楽しい祭りだった」との声が聞かれ、八戸村長は「来年も素晴らしい「牧場祭り」にした」と意欲十分です。どうぞご期待下さい。



●先月号の坂本淑子さんが記憶にありますか？

てんかんとたたたかい

読者の皆さん、先月号談話室のがんばるコーナーに「てんかんに負けない」で登場していただいた坂本淑子さん(中沢)のこと、まだ記憶にありますか？

彼女の悩みは、彼女の人生を押しつぶしてしまうほどの大きなものです。

そんな悩みを知ってしまった今、村民は、広報「よもぎた」は、坂本さんに何をしてあげられるのでしょうか。

何をしてあげるべきなのでしょう。

昭和六十一年十二月、青森市文化会館において開催された「第五回心身障害者の福祉を高める県民集会」で、坂本さんは「てんかんとたたたかい」と題して意見を発表しました。

その発表の全文をここに掲載し村民の心に訴え、ささやかながら坂本さんへの応援とします。

がんばれ、坂本さん。

がんばれ、てんかん患者のみなさん。

分つたのは

小学六年生の春

私が、「てんかん」という

診断を受けたのは小学六年生の春です。

学校で、主に体育の時間に「発作」を起こしたそうです。

当時の私は、「発作」がどんなものか全く分かりませんでした。

母に、訳の分からぬまま病院へ連れて行かれましたが、

不思議にその時の母と病院の先生との会話が、脳裏に鮮明に残っています。

母が、「この子は、学校の先生にてんかんで無いかと

言われ、ビックリして連れて来ました。家では一度も発作

を起こした事も無いが、借家にはてんかんの人がおり、もしかしたら移ったのでしょうか。」

それを聞いた先生は大声で

笑いながら、「お母さん、てんかんは結核などの様な伝染病では有りませんから移りませんよ。それより、お母さんが、お父さんのどちらかの身内に精神病系の病気の方は居りませんか？」

「いや、それは有りません。学校の先生に、小さい頃ケガした事が無いかと聞かれ、四五才の頃屋根から落ちてコンクリートに頭を打った事を言ったら、それが原因じゃ無いかと言うのですが。」

脳波は眠った状態で取りますが、睡眠薬を飲んで三十分以上経っても眠れないので、先生方が相談し、「やむを得ない、麻酔を使うか」と注射を打った途端、頭のしびれる様な感じを受け、そのまま意識を失ったのです。

「これは間違いなくてんかんです。」

私は、最初から「てんかん」を隠される事がなく治療が始まりました。

最も、当時の私には「てんかん」とはどんな病気か分かりませんでした。

発作はショックでした。自転車のまま川へ

二度目のショックな発作は、中学校へ入学して一週間後で

した。

中学校までは四キロメートル程の道程で、ほとんどの生徒は自転車通学で、私もそうでした。登校中、学校まで後二百〜三百メートルの所で自転車に乗ったまま発作を起し、意識不明になり、自転車ごと川へ転がり落ちてしまったのです。

私の記憶はさだかでないのですが、胸まですぶぬれになり、意識ももうろう状態で友人二人が家へ送ってくれたそうです。

家族は勿論、学校側も驚き、大変なショックを受けたそうです。

翌日からは、朝の早い列車通学に変わりました。

私も、次第に「てんかん」は嫌われる病気と分かってくるようになりましたが、現在の様な陰湿なイジメはなく、むしろ大人達の偏見が私を苦しめました。

村の人々は、私を見ては

「あの子はてんかんだって、」

数人集まっては、ヒソヒソ話



小学校に入る前の坂本さん



体育の授業はいつも見学（この写真は記事とは関係ありません）

し、いやな目が向けられました。

先生も

分つてくれなかったノ学校においては、教師からあからさまに言われました。

私達の中学校において、地

区（東青）の「交通安全について」の弁論大会が開催され

ました。その時、先生から「文章力は、お前が一番だから書け！」と言われ、さらに校長からは「ただし、てんかんは学校の恥だから発表者は別人だぞ！」と命令されました。

なぜこの様な不当な扱いを受けなければならぬのだと

怒り、歯ざしりしながら出鱈目な文を渡し落選する事を祈り、一方、来賓の皆さんに、「我が校では、こんな汚い事をやっているんだ」と叫びたい思いでした。

落選した事が、せめてもの救いでした。

体育は見学
通信票は「1」

「発作」にも様々ありますが、私の場合、激しい運動中に発作が多く、体育の実技は一年生半ばから見学でした。一年生の体育担当の先生は保健室担当兼務で、私には理解がありました。

二年に進学しても発作は激しく体育は見学でしたが、担当の先生が変わり、渡された通信票は、体育「1」です。それまで「4」か「5」だった私は、今後ズーツと見学組で、通信票は「1」になるのかと思うとショックでした。

このあたりから「てんかん」が、いかに偏見視されているか身を持って知らされたのです。

今なお、各地で「てんかん」であるために「水泳の禁止」「体育の実技の禁止」が行われている事を聞きます。学校の先生方、どうか「て



んかん」をもっと理解して下さい。

確かに「発作」でケガでもされたらと言う不安はあるでしょうが、義務教育である小中学校での「体育」の必要性は、今さら私が云々すべき以前の事だと思えます。

級友の思いやりは

うれしい思い出

私の体育「1」の通信票を知った級友達は、一時間の授業をつぶしてまでも先生に抗議してくれました。

「先生、淑子に1は余りひどい！」「そうだ、淑子はサポートしているんじゃない！」

級友達の激しい抗議をあら然として見つめていました。

級友達の暖かい思いやりに感謝の気持ちでいっぱいになり、私の数少ない嬉しい思い出の一つになりました。

中学校での最大の楽しみである修学旅行は、もっと悲惨でした。

旅費も払い終り、友達とまだ見ぬ都会の話に興じていた前日、担任の先生が気の毒そうな顔で校長室へ行くように言いました。

校長は、「てんかんは学校の恥だから旅行に連れて行けない！」と宣言したのです。家に帰り、何度もカミソリを手首にあてましたが、血はすぐ固まり、流れるのは涙ばかりでした。悲しい思い出です。

涙の履歴

高校中退・退職・入院
高校へ進学しましたが、「てんかん」にからんだ問題に悩み、二学期半ばで退学し、同時にどうにでもなれと「てんかん」の治療もやめてしまいました。

「てんかん」は不治の病とあきらめてしまったのです。

どういう訳か、次第に発作は減り、地元土地改良区へ勤める事が出来ました。

十年間、発作も無く健康者としての生活でした。

昭和五十四年、私は臍（すい）炎を起こしました。この時、十年間全く無かった「て

んかん発作」が再発したので

す。職場では、手のひらを返し

た様に煙たがられました。

しかも、当時二十八才の私

を無視して、私の母は「退職

届」を出してしまつたのです。

私は、本気で母を殺してや

りたい程うらみ憎しみました。

その後のトラブルの元は、

「てんかん」では無く、一枚

の「退職届」に始まり一枚の

「退職届」に終るようになって

たのです。

そして、私は三度目の自殺

未遂をやり、精神病院に三度

も入院させられました。

一筋の光

協会機関紙「波」

そんな私を変えてくれたの

は、(社)日本てんかん協会

が機関紙として出している

「波」と言う一冊の小冊子で

した。

私は、私自身が「てんかん」

に偏見を持っていた事を知る

と共に、「てんかん」を取り

巻く様々な問題と闘っている

方々、仲間を知りました。

「てんかん」の発病率はおよ

そ一パーセントと言われてお

りませう。

これは、単一の病気として

は非常に高い発病率です。百

人居れば一人は「てんかん患

者」がいるとされています。

しかし、私達のとんかん協

会の会員は、わずか五千人ち

よつとで、その内、医師など

の専門職の方々が半数近くを

占めているのです。

なぜ、こんなに「会員が少

ない」と思えますか。

それは、ひとたび「てんか

ん」と分かれば、様々な不利

益な面に遭遇するからです。

それに対しての保障・福祉

制度のバックアップは、ほと

んどありません。

一般の方々は、「てんかん」

をとかく敬遠しますが、「発

作」があつても仕事について

居る方、結婚をし立派に生活

して居る方は多勢おります。

今年の春に結成された「青

森県支部設立準備会」では、

事業の一つとして科学的な知

識の向上のため「てんかん講

座」を開いております。

どなたでも参加出来ますの

で、ぜひ一度おい出下さい。

お母さん方

あきらめないで!

お母さん方にお願ひしたい

のは、「強い母親になつていた

だきたい」ということです。

患者にとつて一番辛いのは、

家族の偏見・差別です。

「うちの子は、だめだから

…」とあきらめないで、どん

どん表へ出していただきたい。

社会への理解を訴えるには、

科学的知識、社会的知識、法

的知識を知っていただきたい

ものです。

「てんかん」を理由に解雇

され、裁判で二年半闘争し、

「判決直前急転和解」した方

もおります。

てんかん協会では、

そんな方達への支援

も行います。

しかし、一方その

ような支援を快しと

しない、むしろ「騒

ぎ取り上げられるの

は迷惑である」と言

う方もおります。

裁判騒ぎとなれば、当然各

方面から、あらゆる目が向け

られ、本人にとつても、親に

とつても精神的負担は大きく

なると思ひますが、それを乗

り越えてこそ、本当の自立が

見えて来るのでは無いでしょ

うか。

本人及び親も含めた家族の

皆さん、「てんかん」を取り

巻く問題は山積みされていま

す。あきらめず問題解決のた

め頑張りましょう。

「てんかん」に直接かかわり

の無い方も、どうか「てんか

ん」を正しく理解して下さい。

前ぶれもなく、突然、襲

つてくる病気「てんかん」。

ふだんは全く周囲と変わ

らない人が、いきなり倒れ

たり、けいれんやひきつけ

を起こす。発作病。だが、

患者とその家族は病気ばかり

ではなく、多くの誤解や

偏見に苦しんでいる。

「てんかんを制圧し、正

しい知識を持ってもらいた

い」。そんな願ひで、昭和

六十三年六月二十六日(日)

に、青森市総合福祉センタ

ーにおいて、日本てんかん

協会青森県支部が発足した。

昭和六十一年六月の県支

部が発行 東奥日報より)

正しい知識と確かな治療を

部設立準備会発足から九二
年、全国二十六番目の支部。
てんかん患者本人とその
家族、医師、有志たち八十
三人で発足にこぎつけた。
医学の進歩で病気の五割
は治療できるまでになった
時代。「病気を理解してほ
しい。単なる偶然から病に
苦しむ自分たちに力を貸し
てほしい。」とてんかん制
圧ネットワーク、小さな組
織は今、大きな運動のうね
りを起こそうと立ち上がっ
た。



小さい心にも大きな思い

世界にはばたけ、輪を広げよう！

本村の三人、第三回青森県青年の船に乗る

青森県青年の船は、県下の青年が洋上における船内研修と規律ある団体生活を通じ、為な青年を育成することを目的として行います。

九月十日（日）、午前九時三十分から、団長代理谷川憲三副知事を初め、一般団員三百四十四名が、商船三井客船（株）所属「新さくら丸」（一六、四三二トン）を使って、青森港を出港しました。

この視野の拡大と協調の精神を培い、明日の青森県を担う有望な青年を育成することを目的として行います。

九月十日（日）、午前九時三十分から、団長代理谷川憲三副知事を初め、一般団員三百四十四名が、商船三井客船（株）所属「新さくら丸」（一六、四三二トン）を使って、青森港を出港しました。

また、初日の十日の夜には、船長招待パーティーが催されるほか、洋上運動会、洋上慰霊祭、青年の主張大会、青年の船フェスティバル、さよならパーティーなどの行事が開催されることになっていました。

今回、わが村からは、福井幸正（郷沢）さんが五組十四班、木戸美和子（瀬辺地）さんが九組二十六班、飯田明子（瀬辺地）さんが十組二十九班の団員として参加しました。

この広報が皆さんの家庭に配布される頃は、三名の方は研修を終えて帰宅していることとしよう。

研修は、九月十日（日）から九月二十三日（土）までの二週間の日程で行われ、訪問国は、ワイリピン共和国（マニラ）、大韓民国（釜山、慶州）です。

十一月号から一名ずつ、研修報告をする予定になっておりますのでお楽しみに！

これらの港では、現地青年達との交流・親善を行い、船内では、洋上研修として講話、講義、ゼミナール、ブロック

別デイスカッション、クラブ活動等の研修を受ける予定になっております。

祝賀会では、毎戸一人の方をご招待する予定になっております。

村制施行百周年記念式典
十一月十九日に挙行ノ



今年は豊作だ！

蓬田小学校いも掘り・いも煮会

けし管理し続け、ズーツと待っていたいも掘です。うねごとに別れて一斉に作業が始まりました。

昨年とは違い、あちこちで「あるある」「この芋、でっかい」など大きな歓声が上がりました。

それぞれ、コンテナ一杯のじゃがいもを収穫し、まずは心地よい汗を流しました。

この後、班ごとに臨時の作業を任せ、洗う係、煮る係などに役割分担して芋煮会が始まりました。

先生を囲んで取り立ての芋にバターをつけたり、思い思いの味付けをしながら全校で収穫の喜びを味わいました。

コンテストの結果は次の通りです。

◆総重量の部

- ① 瀬辺地南 三十一・四g
- ② 高根 三十一・〇g

◆特大芋の部

- ③ 阿弥陀川南 二十七・八g
- ① 瀬辺地南 四百三十五g
- ② 広瀬 四百十g
- ③ 瀬辺地北 三百五十g

八月二十六日（土）、午前九時から蓬田小学校（奈良良成校長）の全児童三百九名が芋掘り、芋煮会を実施しました。

春に各校外班ごとに植えつ



適切な消火活動、

おみごと!

消防本部長表彰を受賞

七月十七日(月)、午後一時四十五分、蓬田村大字宮本の泉欣弥さん宅から煙が出ている」と、役場に電話が入りました。

この煙を最初に見つけたのは、郵便配達中の後潟郵便局員の工藤鉄男さんでした。

工藤さんは、ちょうど近くの村総合運動場で作業をしていた役場職員の小鹿義晃さん、久慈修一さん、坂本勝教さんに知らせ、駆け付けたところ、家の中から煙が出ているので、玄関の戸を外して消火活動をしました。

この際、火事現場隣家の中学生、佐井皇君も一緒に消火活動を手伝い、火は間もなく消え、畳二枚を焼いただけのボヤで終わりました。

この適切な消火活動の労が認められ、九月五日(火)青森地域広域消防事務組合本部長表彰をそれぞれ受賞しました。

ご苦労さまでした。
(上記の写真は右から、坂本さん、小鹿さん、久慈さんです。)

暮らしと電気安全

汚れたランプは清掃を

(財)東北電気保安協会

10月27日から読書週間に入ります。昭和22年から読書推進運動協議会の主催で始められ、文化の日(11月3日)を中心とした2週間を読書週間としています。

視力は20才を頂点にして、しだいに低下すると言われています。

この現象は自然的なもので、明るさだけでは視力回復は出来ませんが、年齢に応じて明るさを増加する必要があります。

例えば60才の人が20才の人の視力と同じくするためには、約2倍の明るさが必要となります。

ところで皆様のご家庭の照明器具は汚れていませんか。蛍光灯は、7千時間位点灯すると明るさが20%ほど減ります。

蛍光灯の端に黒色の輪が強くてきて、明るさが減ったら早目に取り替えましょう。

行政相談はお気軽にどうぞ!

皆さんの暮らしの中で、行政に対する意見・苦情・要望

はありませんか。

総務庁では、行政相談制度

について、広く皆様方のご理

解と認識を深めていただくた

め、全国一斉に、来る十月十

五日(日)から二十一日(日)

までを「行政相談週間」と定

め、この間いろいろな行事を

実施いたします。

お気軽に申し出て下さい。

▼蓬田村行政相談委員

張間 キヨ

☎(二七)二四三二

▼青森行政監察事務所

☎〇一七七(三四)三三五四

▼行政苦情一〇番

☎〇一七七(三五)一一〇〇

なお、十月二十日(水)は

特設相談所を開設しますので、

お気軽にご相談下さい。

◆特設行政相談所開設◆

●日時 十月二十日(水)

●午前十時から午後三時まで

●場所 蓬田村中央公民館

不在者投票



元気、元気、元気が走る！

蓬田保育所運動会

九月三日（日）午前九時三十分から、蓬田保育所の運動会が、雨天のため、蓬田村農業者トレーニングセンターで開催されました。

こども達の待ちに待った運動会は、吉崎所長のあいさつ、八戸村長の祝辞で始まりました。

蓬田保育所には、現在、二才児から四才児までの幼児五

十八名が入所しております。

この日、二才児（ひよこ組）

が黄色の帽子、三才児（ぞう

組）がピンク・オレンジの帽

子、四才児（ばら、ゆり組）

が黄みどり・ブルーの帽子をかぶり、元気一杯トレーニングセンターを走り回りました。

ラジオ体操から始まり、組

ごとの玉入れ、つなぎ競技

や、親子でリレーをするおみ

こしワッショイや、おじい

ちゃん、おばあちゃんのゲート

ボールなどがプログラムにあ

り、和やかな雰囲気で行

しました。

また、組ごとの遊戯は、ひ

よこ組が「はとのこ、くまの

こ、ますのこ」、ぞう組が「タ

ヌキのポンポコばやし」、ば

ら、ゆり組が「大山だいこ」

で、日頃の練習成果を披露し

ました。



特に、幼児リレーは盛り上がりを見せ、コースを間違っ

て走る子や、バトンを違う相手

に渡す子など会場は笑いの渦

となりました。

プログラムの最後には、幼

児と親子が一緒に「小やぎの

ポルカ」と「蓬田音頭」を踊

り、全員けがなく十八種目の

競技を終えました。

競技終了後、おみやげにお

菓子がプレゼントされ幼児は

大喜び。これで、楽しい一日

を終えました。

ひとこと・村長から

国民健康保険税の滞納をなく！

医療技術の発達と、設備の整備によって、長寿社会が形成されつつあります。

病気になるように、あらゆる注意をはらっても、病はおきます。

病気になるって、特に保険制度の有り難さがわかるものと思います。

今、わが村の国保運営は大変きびしい現況にあります。

どうか制度の有り難さを理解のうえ、特段のご協力を切望してやみません。

村国保運営委員会も一生懸命頑張

って適切な運営に努力しています。

滞納をなくし、明るい村づくりに本気でご協力下さい。

ご相談は民生課において下さい。

赤十字思想普及ミニ知識

シリーズ⑥

赤十字事業……「災害・救護活動」

いつ、どこで発生するかわからない災害にあった人々を

救護する仕事は、赤十字のも

つとも重要な事業のひとつで

す。

日本赤十字社では、本社を

はじめ全国の各都道府県支部

に合計四百五十九もの医療救

護班が編成されており、災害

が発生すると、いつ、どこへ

でも迅速に救護班を派遣し、

被災者や傷病者を救護する体

制にあります。

青森県に大きな被害を及ぼ

した昭和四十三年の十勝沖地

震、昭和五十八年の日本海中

部地震、そして昭和六十年の

（次回は「赤十字事業：赤

わたしのアイデア

10

健康クッキング

坂本

照代

中 沢
食生活改善推進員



●揚げナスのおろしかけ・青しそ巻き揚げ

●材料（4人分）

- 揚げナスのおろしかけ
ナス(中)8個位/大根おろし(水けを軽く絞ったもの)少々/枝豆(ゆでたもの)少々/トウモロコシ(ゆでて粒をはずしたもの)少々/チーズ角切り少々/薄口醤油少々/酢少々/塩少々/揚げ油少々
- 青しそ8枚/チーズ2本/ニンジン4分の2本/ハンペン4分の1枚

とり立てて美人でもなく、さしたる取柄もない私は、「せめて家族のために、おいしい料理と健康を」と気をつけて来たおかげか、主人ともども寝込むことを知らない、元氣いっぱい毎日です。

旬はなくなつたと、言われ始めてからずいぶんと経ちましたが、これからの旬、夏野菜といえ、なんととってもナスです。

ナスは、くせのない味が魚、肉、チーズなど何にでも合、調理法も、揚げる、焼く、煮る、炒めるとさまざまです。

揚げナスのおろしかけは、食欲のない夏にはピッタリのスタミナ料理です。

ナスはあまり栄養のない野菜ですが、油との相性が抜群で、たっぷり油をあつとつう間に吸収します。

夏野菜といえ、ナスです。

夏にはピッタリのスタミナ料理です。

これで夏を乗りきります。



こつてり味にさっぱり味のダイコンおろしを乗せ、よく冷やして食べます。夏の暑い日でも箸が進むおいしさです。

わが家はこれで夏を乗りきります。

また、青しその揚げ物も大変けっこうです。

●つくり方

①ナスは、がくを切りそろえ、包丁で茶せん状に切れ目を入れる。

- ②揚げ油を百七十度に熱し、①のナスをどつぶりつけ、くるくる回しながら、芯が柔らかくなるまで揚げ、油をよく切っておく。
 - ③大根おろしに薄口醤油、酢を各大さじ一杯と塩少々を加え混ぜる。
 - ④ナスを器に盛り、まん中の切れ目を開き、混ぜ合わせた③を乗せ、枝豆と、トウモロコシとチーズの角切りを色よく散らしてできあがり。
- よく冷蔵庫で冷やして食べて下さい。
- ①青しそをよく洗って、水けを取り、チーズ、ニンジン、ハンペンに巻いて、さつと揚げる。

《応用》

大根がない場合は、ナスを半分に切り表面に切り込みを入れ、油で揚げます。しよつがと、醤油を混ぜ合わせ、ナスにかけ冷まして食べます。

サラリーマンの奥さん!

加入手続きは

お済みですか!

厚生年金保険や共済組合に加入しているご主人に扶養されている奥さん、国民年金の加入手続きはお済みですか。

サラリーマンの奥さんの保険料は、ご主人の加入している年金制度がまとめて負担しますので、自分で納める必要はありませんが、第三号被保険者としての「届出」が必要です。

この届出を忘れていると、将来、奥さん自身の年金が受けられなくなることもありまから、まだの方は、今すぐ、役場国民年金係で手続きをして下さい。



No.20 **かんばる**
田中 信彦さん
瀬辺地



青春は、青年会活動に!

今回は、衰退しつつある青年会の活動を活発にしようという意欲を持っている瀬辺地の田中信彦さんに取材しました。

参加したのは、高校在学中からで、地域青年会の権現様回しや、盆踊りに「人が足りなから手伝ってくれ」とよく引張られたそうです。

現在、蓬田村青年団体連絡協議会会計と瀬辺地青年会々々

談話室

長（今年の八月に就任）の二足のわらじをはいて活躍中でありますが、新会員（特に女子）が入らず、会は衰退しつつあるのが現状です。

そこで、田中さんの力量が発揮される絶好のチャンスと期待が集まっています。

青年会の会員不足と、活動を盛り上げるためにはと、彼が考えた一策は「我々は、雪国生まれ、雪国育ちだから、この雪をうまく利用したスポーツ活動をしたい」、いわゆる「雪上ソフトボール大会」「村営牧場でのソリ大会」「雪上ボウリング大会」等。

ぜひ、実行に移したいと意欲十分です。

趣味は、「ドライブ」「釣り」「読書」「スポーツ」。

特に休日にドライブをするのが今一番の楽しみだそうです、いつの日かF1レース（鈴鹿サーキット）を見に行きたいと語る花の独身なので

現在、蓬田グリーン開発に勤務し、県内（十一ヶ所）にあるチェーン店に毎日花を配達しながら、花嫁も探していると言います。

仕事に青年会活動に花嫁募集にと忙しい独身、田中信彦さんは今日も頑張る。

○ 10月の行事予定

日	行	事	担
1	陸奥湾一周駅伝大会		蓬田村体育協会
2	狂犬病予防注射登録(役場前)		民生課
4	県国公立幼稚園教育研究大会		教育委員会
5	炊事遠足		蓬田中学校
6	炊飯遠足		蓬田小学校
17	股脱健診(中央公民館)		民生課
18	人権相談所開設(中央公民館)		総務課
20	特設行政相談所開設		総務課
22	蓬中祭		蓬田中学校
29	学芸発表会		蓬田小学校
29	東津軽郡駅伝大会		東津軽郡体育協会 会連絡協議会



みくつけた
20

瀬辺地天満宮隣の高台に造られた瀬辺地広瀬地区農村公園をご存知ですか？

展望台からの景色がよく、晴天の日は、陸奥湾が一望できて、最高の気分が味わえます。

この瀬辺地広瀬地区農村公園は、昭和59年度に新農業構造改善事業で、総工費 1,630万円を費やして造られたものです。

瀬辺地、広瀬のどちらからでも、所要時間は1分位ですので、一度いかがですか？

けっばる蓬田人 ⑬

お祝いおめでとう

(株)工房コバルト

代表取締役

藤田 敬二郎 さん



昭和四十三年に、蓬田から上京してもう二十一年が過ぎました。

東京の会社で働いたものの、自分で何かやってみたい、どんな仕事からでも始めてみたいと思ひ、四十八年に独立。現在、社員十人程の小さな会社で、けっばっています。

毎年一月から三月迄、平館村から、三人程度、わが会社へ手伝いに来てくれる人達がいいます。彼達は、田舎を離れた頃に田舎の風を運んで来てくれ、ホットする一時でもあります。

会社設立にあたり、色々な事がありません。給料という給料が手元になかった時、夜、昼なく飛び回った時、人が思うように集まらなかった時等、無から這い上がるのは大変でした。でも、自分で選んだ道。五年たった今は、あの頃を笑

って言えるようになり、どうにか会社も軌道に乗って会社と言える様になって来たと思っています。

しかし、これで満足しているわけではありません。仕事は、N T T の建築部門の模様替えて、消化しきれない程の仕事量ではありませんが、このご時世でもあり、人手不足が頭痛の種の一つです。

中沢へは、年一度は帰るよう努めており、帰省できる私は幸福に思っています。子供達も海や山で遊ぶ事を毎年楽しみにして、田舎のあ

る事が学校でも自慢の対称です。山での散策が好きで、おいしい水と空気を思いっきり吸い込むと心が洗われる様な気がします。

特にイワナ釣りに、満喫して帰って来ます。

帰れる蓬田村のある事を誇りに思い、蓬田村のご繁栄を心より願っております。最後になりましたが、村制施行一〇〇周年、おめでとうございます。

昭和四十三年に、蓬田から上京してもう二十一年が過ぎました。

東京の会社で働いたものの、自分で何かやってみたい、どんな仕事からでも始めてみたいと思ひ、四十八年に独立。現在、社員十人程の小さな会社で、けっばっています。

毎年一月から三月迄、平館村から、三人程度、わが会社へ手伝いに来てくれる人達がいいます。彼達は、田舎を離れた頃に田舎の風を運んで来てくれ、ホットする一時でもあります。

会社設立にあたり、色々な事がありません。給料という給料が手元になかった時、夜、昼なく飛び回った時、人が思うように集まらなかった時等、無から這い上がるのは大変でした。でも、自分で選んだ道。五年たった今は、あの頃を笑

って言えるようになり、どうにか会社も軌道に乗って会社と言える様になって来たと思っています。

しかし、これで満足しているわけではありません。仕事は、N T T の建築部門の模様替えて、消化しきれない程の仕事量ではありませんが、このご時世でもあり、人手不足が頭痛の種の一つです。

中沢へは、年一度は帰るよう努めており、帰省できる私は幸福に思っています。子供達も海や山で遊ぶ事を毎年楽しみにして、田舎のあ



めも

▶現住所/東京都目黒区目黒本町3-17-1-1~108 ▶☎03-793-6062 ▶生年月日/昭和24年4月5日▶出身/中沢/藤田晃作氏次男▶家族構成/妻(おつ)・長男(敬)・長女(加奈子)▶好きなもの/釣り・ゴルフ▶経歴/青森県立工業高等学校卒業(昭和43年)・横山建設(株)(昭和43年~48年)・(株)建築工房コバルト設立(昭和48年8月~現在に至る)▶紹介者/吉田清光さん(中沢)

戸籍の窓



人口と世帯数
(8月31日現在)

総人口 4,216人
男 2,032人
女 2,184人
世帯数 1,044世帯

8月受付分

お誕生おめでとうございます

坂本 孝平	(忠直)	孝美	2男
稲葉 絢美	(孝さき)	治明	長女
久慈 楓	(徳富)	子明	2女
久米田吉弘	(取千)	津子	長男
木村 隼登	(義富)	則美	2男

ご結婚おめでとうございます

(坂本 竜司 中沢 市
菊池 文子 青森 市)

おくやみ申し上げます

室谷 ソデ(蓬田) 75歳)
坂本 まつ(長科) 55歳)
坂本 チエ(中沢) 76歳)

おわび

九月号の「がんばる(No.19)」に「てんかんは不治の病」と書きましたが、現代医学では発作を治せるようになって来ました。おわびを致します。